

# 新潟県 公民館月報

KOMINKAN GEPPU

10

October 2019  
No.800

祝 新潟県公民館月報 創刊800号



「夏休み恒例のサバイバルキャンプ」(津南町)

10kmウォーク終盤の絶景ポイント 川の展望台でパチリ!

4~5

特集

「社会教育関係者元気アップ交流集会」開催

CONTENTS

- 2………… トピックス                   「中越公民館職員研修会開催」
- 3………… 視      点                   「素敵な学びの場、出会いの場」 中越教育事務所社会教育課 副参事 五十嵐恵一  
ひ      ろ      ば                   「友達はどうやって作りますか」 五泉市橋田公民館主事 田中 正樹  
掲      示      板                   「にいがた生涯学習県民フォーラム2019」開催
- 6………… 実践記録シリーズ           令和元年度 こだま事業「はじめての親子キャンプ」 阿賀野野中央公民館
- 7………… サークル交流                   「親子で楽しい時間を」(燕市) / 「交流活動拡大中！」(妙高市)  
素      顔      拝      見               森谷亜矢子さん(新発田市) / 時田 彩香さん(胎内市)
- 8………… お元気ですか                   「人生、先は長い」 聖籠町・駒田 文雄さん  
ネ      ッ      ト      ワ      ー      ク           「三条雲蝶会」

TOPICS

# 中越公民館職員研修会開催

中越地区公民館職員研修会が、9月25日(水)に燕市中央公民館で開催されました。

中越地区15市町村の公民館職員48名が参加しました。

最初は、緊張気味の皆さんでしたが研修が終了するころには笑顔あふれる雰囲気となり、あらためてコミュニケーションの大切さを感じることができた研修会となりました。



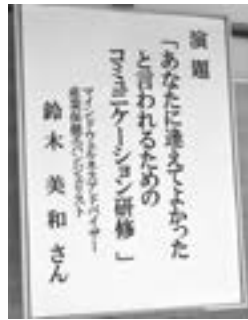
### ○開会

恋塚 忠男中越地区公民館連絡協議会会長のあいさつで研修が始まりました。



開会のあいさつ 恋塚 忠男会長

〈研修テーマ〉  
「あなたに逢えてよかったと言われるためのコミュニケーション研修」



### 〈講師〉

鈴木 美和 さん  
マインドウエルネスアドバイザー  
ザイ・産業保健エバンジェリスト



講師 鈴木 美和 さん



グループで自己紹介

### ○研修内容

1 コミュニケーションはなぜ大事？

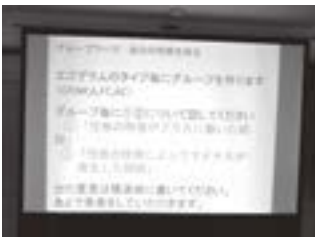
各グループで職場のコミュニケーションについて自己評価した後、「明日からコミュニケーション週間を行うとしたら何をしますか?」という課題について話し合いました。

・ 明るいあいさつ ・ 情報を共有するようにする ・ 報連相の徹底等が出されました。

2 自分の性格を分析してみましよう

「自分を知らぬ」ということで、参加者全員でエゴグラムで自分の性格を分析しました。

C P : 位置づける私、N P : 思いやる私、A : 考える私、F C : 自由な私、A C : 合わせる私のグループに別れ、それぞれの特性についてプラスやマイナスに働



グループワークの内容

いた点について意見交換を行い、まとめたものをグループ毎に発表した。



エゴグラムでタイプ別にグループワーク



グループ発表

3 相手の性格に合わせた対応の仕方  
タイプの違う2人1組に別



2人1組でのコミュニケーション実習

れ、褒め言葉を掛け合う実習を体験しました。

4 元気を引き出すコミュニケーション

「人が物事を知覚・認識する仕組み」、「モチベーションの構造」、「言葉と態度が相手に伝えるメッセージ」、「人生を豊にする言葉」、「ポジティブな状態を引き出す言葉の使い方」等について資料をもとに解説がありました。

### ○閉会

田中 未来燕市中央公民館長の閉会のあいさつで、今日の学びを明日からの職場に活かして欲しい、そして、研修での出会いを今後も大切にしたいと思います。という話で、研修会を終りました。



閉会のあいさつ 田中 未来 燕市中央公民館長



# 「友達はどうやって作りますか」

五泉市橋田公民館主事  
田中 正樹



友達を作るとき、自分から声を掛けるタイプですか？ または、声を掛けられるのを待っているタイプですか？ どちらでもありだと思つのですが、まず、出合いの場所に行くことが大事だと思ひます。自分から、やってみたいサークルに飛び込んでみるのもいいし、友達から誘われたときに、一緒に行つてみるのもいいと思ひます。

「人生は出会いである。出会いが感動である。人は何万人の中の一握りの人と出会うのです。このことは大切にしたい。」これは、40年前、

程前、笑福亭鶴瓶さんがテレビの鶴瓶学級という番組内で言われた言葉です。私は、この言葉を聞いた時、「これだー」と思ひました。人と出会うことの不思議さ、友達になつた時の感動、引つ込んでばかりじゃなく自分から飛び込んでいくことが大切だと言われていると思ひました。以来、迷つたときは、「やってみよう」、「参加してみよう」との選択をすることが多くなりました。

今、公民館活動のお手伝いをさせて頂いていますが、だんだん参加者が減少しているように感じられます。ちよつと寂しいです。既にサークル活動を楽しんでいる人、今度まわりの人を誘つてみませんか。新たな発見があるかもしれせん。誘われる人も、きつかけを待っているのかもしれない。サークル活動を通じて、人と出会い、友達が増えることは人生において素晴らしいことだと思ひます。何かを始めるのに、もう遅い、まだ早いと諦めるのじやなく、今からスタートしてみませんか。きつと感動できることがあると思ひます。

# 視点



中越教育事務所社会教育課  
副参事 五十嵐恵一

## 「素敵な学びの場、出会いの場」

4月から社会教育課に勤務しています。学校現場を離れ、社会教育の仕事に携わるようになり、たくさんの方との新たな出会いがありました。毎日が新鮮で、教員時代にはなかつた視点から教育を考える機会をいただいています。

小学校勤務のときには6年間の子どもたちの成長のこのみを考えていました。いかに楽しく居心地のよい学級、分かりやすい授業を創り出すかに苦心していました。それはそれで充実していたのですが、「人生百年の時

代」が訪れようとしている今、長い人生をいかにデザインし自分らしく生きていくか、長いスパンで考える大切さをもつと子供たちに伝えていく必要があったと感じています。

幸い、学校を出た後でも学ぼうという意欲さえあれば学びの機会はたくさんあります。公民館はその最も身近な場所ではないでしょうか。充実したたくさんの講座が開催されています。「一歩足を踏み出す勇氣」をもつことで、自身の成長につながることも、他の人とのつながりが生まれ、それが生活していく上でのエネルギー（生きがい）につながるっていくという事例を多く学びました。そんな素敵な

学びの場、出会いの場を創ろうと職員の方々は日々努力しています。

また、早いうちから公民館との出会いを経験することも重要であることにも気付かれました。小学校も中学校もそして高校や大学も公民館もつとつながる必要性を感じています。講座に参加（出前講座も含め）したり、運営に携わったり。そのように経験をした子供たちは社会に出てからも公民館を身近に感じ、地域にある学びの場を活かして自身の学びや自己実現、社会参加につなげていくのではないかと考えます。学校と公民館の連携・協働には大きな可能性を感じます。

### 掲示板 HOT NEWS 「にいがた生涯学習県民フォーラム2019」開催

(1)日時 令和元年11月9日(出)、10日(日)

(2)会場 新潟県立生涯学習推進センター (県立図書館、県立文書館 併設)

(3)日程及び内容

- 1日目<ホール>
  - 10:00～11:30 オープニングイベント
  - ・フォーラム開会式、カレッジ表彰式
  - ・読書おたよりコンテスト表彰
  - ・中高生 pop コンテスト表彰
- 13:30～16:00 県立図書館「読書週間記念講演会」
  - 講師：小説家 阿刀田高さん
  - テーマ：「ユーモアと読書の勧め」
  - <ホール以外の会場>
    - ・社会教育関係者スキルアップ研修会
    - 講師：新潟県立大学教授 斎藤裕さん
    - ・文書館特別企画展「江戸時代の庄屋さまは超多忙!!? ～越後・佐渡の村役人の世界」
    - ・各団体活動パネル展示
- ・読書おたよりコンテスト作品展示
- ・中高生 pop コンテスト作品展示
- 2日目<ホール>
  - 10:00～11:45 「家庭教育講演会」
  - 講師：新潟青陵大学教授 伊藤真理子さん
  - 13:30～15:00 「大人の学びトークイベント」
  - 講師：女優・作家 中江有里さん
  - <ホール以外の会場>
    - ・社会教育関係団体設営ブース
    - ・けん玉検定
    - ・江南特別支援学校学習成果展示・販売等

# 特集

## 「社会教育関係者元気アップ交流集会」開催

新潟県生涯学習協会が、社会教育に仕事や活動に関わっている方々が一緒に疑問や悩みを語り合い、学び合う交流集会として「元気アップ交流集会」を令和元年9月7日(土)開催しました。

会場は、昨年と同じで柏崎市谷根の「旧山崎邸」(社会教育研究者である千葉大名誉教授・長澤成次先生が管理されている築113年の古民家)でした。

今年で4回目を迎えました。県内外から多くの関係者が集まりました。交流集会は、2名の話題提供、意見交換、まとめの講演という流れで進められました。



長澤先生から山崎邸の紹介

### ◆話題提供1

熊谷いみ子さん(新潟県生涯学習推進センター相談員、元新潟市公民館職員)

○「地域学から学ぶ」と題し、22年間新潟市の公民館で勤務されたなかで、新潟市東区大形地区の地域課題解決に向けて取り組んだ学習活動「大形ちいき楽会」についての紹介がありました。4年間の取



話題提供者の熊谷いみ子さん

り組みと5年目からはワークショップ形式で計画できたことを中心に発表がありました。

1年目 「大形を知る」ちいき楽会通信を発行し、参加者を募った。

2年目 「大形の未来づくり」地域で活躍している人や地域を良く知っている人の力を借りることができた。

3年目 「地域に出て出前講座」町内へ出かける機会を多くつくった。

4年目 「自主性に向けて 充実した出前講座」



大形地区の地域学でまとめた冊子



熊谷さんの発表に聞き入る参加者のみなさん

### ◆話題提供2

朝日 仁美さん(絵本でSDGs推進協会代表理事、JPCR読書アドバイザー、絵本専門士、元糸魚川市社会教育委員、司書)

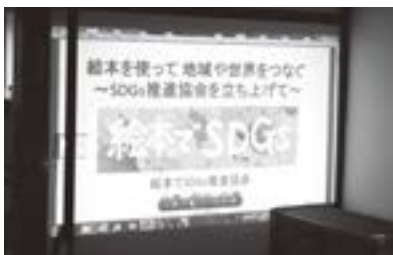
○「絵本でSDGs」とは、だれ一人取り残さず、全世界の人々が持続可能な幸せを目指す取り組み(SDGs)を身近な事柄とする絵本を用いて推進

「大形ちいき楽会」の活動の様子を紹介するスライドショーを大形地区の交流会で発表することもできた。このちいき楽会は現在も自主化して続いている。また、県立大学の学生も関わってくれるようになった。

講師や参加者として関わった地域の人から、コイディネットしていく喜びを感じてもらえたことが、大きな成果であったと述べられていました。



話題提供者 朝日仁美さん



SDGsの紹介

する活動であると説明がありました。

親子で楽しく遊ぼう！・絵本とアートで学ぶSDGs等、SDGsを体験するワークショップを県内にとどまらず県外でも積極的にやっている様子が紹介されました。

持続可能な17の達成目標

- 1 貧困をなくそう
- 2 飢餓をゼロに
- 3 すべての人に健康と福祉を
- 4 質の高い教育をみんなに
- 5 ジェンダー平等を実現しよう
- 6 安全な水とトイレを世界中に
- 7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに
- 8 働きがいも 経済成長も
- 9 産業と技術革新の基盤をつくろう
- 10 人や国の不平等をなくそう
- 11 住み続けられるまちづくりを
- 12 つくる責任 つかう責任
- 13 気候変動に具体的な対策を
- 14 海の豊かさを守ろう
- 15 陸の豊かさを守ろう
- 16 平和と公正をすべての人に
- 17 パートナリシップで目標を達成しよう。

現在、絵本でSDGs推進協会の一員であり、周知活動に取り組んでいることや、公民館での読み聞かせを糸魚川に育てていきたいと力強く語っておられました。

◇意見交換

〈意見や悩み〉

・ 社会教育が大事であるという声があまり聞かえないので残念である。



熱心な意見交換パート1



熱心な意見交換パート2

・ 現場は多忙である。人集めでなく、学習した人が満足したかどうかが大切だ。

・ 女性学、家庭教育を学ぶ立場から、運営の立場になつてむずかしさを感じている。

・ 社会教育の推進が盛り上がりがない職場の雰囲気がある。

・ 公民館が必要と思ってもらえるような事業や館運営が必要なのでは。

・ コミセン化した公民館でも、公民館の機能を生かした運営をしている所もある。

・ 公民館に行けば楽しい、学べることも多い。家庭教育や地域で子どもを育てる大切さを経験して、自分でできることを考えるようになった。

◇まよめの講演

長澤 成次さん(日本社会教育学会会長。千葉大学

名誉教授、放送大学千葉学習センター所長)

演題 今だからこそ必要！「社会教育」

・ 2019年を考えると：文部省普通学務局第4課から100年。社会教育法制定70年。第9次地方分権一括法による社会教育法「改正」：改正経緯の「検証」が必要と講演が始まりました。

1999年第1次地方分権一括法による社会教育法改正から第9次までの文部科学省や内閣府の動きや経緯について詳しく説明がありました。

2019年3月に「地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律案」(第9次地方分権一括法案が閣議決定し国会に上程。社会教育関連法「改正」となり、「教育委員会が所管すること」になっている博物館、図書館、公民館などの公立社会教育施設について、社会教育の適切な実施の確保に関する一定の担保措置を講じた上で、地方公共団体の判断により首長部局へ移管することを可能にする。これにより、移管された当該地方公共団体においては、観光・地域振興分野やまちづくり分野を担う首長部局で一体的に所管できるようになり、社会教育のさらなる振興はもとより、文化・観光振興や地域コミュニティの持続的発展等に資する。という法律案にもふれてお話をいただきました。



講演の様子

これからの社会教育の在り方について、国が地域・自治体の力たちを決めるのではなく、住民が主権者として地域・自治体の未来を創っていく時代であり、ともに語り合い、ともに学び合う共同学習をひろげることが大切であるとしめくられました。

最後に、「公民館って職員ですよね」のことが印象に残りました。(広瀬)

# 実践記録シリーズ

259

## 令和元年度 こだま事業 「はじめての親子キャンプ」

阿賀野市中央公民館

### 《はじめに》

生涯学習課では親子で参加の様々なこだま事業を行っています。事業の見直しの時に、小学校低学年が自然に関わって参加する事業を作ろうと、平成28年より「初めての親子キャンプ」を計画し実施しています。

### 《活動内容》

今年度は「令和元年あなたはあそびの達人になれるか!」をテーマに小学校1年〜3年の児童とその家族を対象に実施しました。子どもと大人が一緒に自然の中で活動を工夫しながら体験することにより、家族の絆や参加者同士の交流を深め、自然への親しみや畏敬の念を育み、また、安全に活動する工夫、節約して使うなど災害への意識付けにも役立つ活動とする。を目標に五頭連峰少年自然の家を会場に6月8日(土)・9日(日)に行いました。今年度は13組親子41名の参加で他のこだま事業も含めリピーターが5組ありました。

1日目は各自お昼を食べて12時集合で開会式、テント設置、弓矢作り、野外炊飯、キャンプドールサービスを行いました。雨天のために今



年度は体育館でのテント設置となりましたが、1家族ごとにテントを建てると中に入ると楽しんでいました。弓矢作りでは小刀や紙やすりを使って親子で協力して作り、的当てを楽しみました。夕食の野外炊飯ではパッキングで肉じゃがを作りました。ほとんどの大人の方も初めての経験で、「こんなこと



ができるんだね」と感じしていました。  
2日目は朝食に牛乳パックでホットドック作りと野菜スープ作りもして、おかわりをして食べていました。火起こし体験では子供も大人も夢中になり、煙が出るともう少しと胸を弾ませ、種火が消えるのがっかりしながら、親子で応援しながらまた挑戦していました。自由遊びでは、沢ガニや虫を探したり、手作りブランコに乗ったりと自然の中で体験できる遊びを楽しんでいました。

### 《今後の取り組み》

アンケートからは「新しい友達ができた」「沢ガニとりが楽しかった」「食事作りが楽しかった」などと共に「時間的に休憩時間が少ない」「集合時間が厳しい」などの意見も聞かれ、次回をもっと自然の中での交流を目指して、自由時間のある計画にしていこうと考えています。

安田公民館 田中 恵子



親子で楽しい時間を

サークルきらら

燕市家庭教育支援チーム「サークルきらら」を紹介しま...

主な活動は、「らんらんランチ会」...



メンバーだけではなくオープンに参加できる...

「サークルきらら」は今年3月に文部科学省の「家庭教育支援チーム」...

館長 田中 未来 記

交流活動拡大中!

あのねcafé

あのねcaféは、主に子育て中のパパやママが集まって...



妙高市・あのねcafé 代表 石野菜乃香 記

具でお絵かき、BBQ、クリスマス会など大人でも子供でも楽しめるイベントを企画運営しています。

最近では子育ての枠を広げて地域の方々と交流にも積極的に取り組んでいます。

あのねcaféは、妙高市での子育てが楽しくなるようにという想いで活動しています。

新発田市豊浦地区公民館 主事 森谷亜矢子さん



豊浦地区公民館の森谷亜矢子さんを紹介します。...

(豊浦地区公民館 小熊 道代 記)

胎内市黒川庁舎社会教育係 主事 時田 彩香さん



新採用で生涯学習課社会教育係に配属となった時田彩香(ときたあやか)さんは、公民館機能を集約している黒川庁舎に籍を置いています。...

(胎内市黒川庁舎社会教育係 主任 廣井 聡 記)

素顔拝見

ネットワーク

**三条雲蝶会**  
**石川雲蝶出前講座**  
**石川雲蝶見学会のご紹介**

石川雲蝶は江戸末期から明治初期にかけて越後で活躍した彫工で、寺社の装飾彫刻に腕を振るいました。魚沼の西福寺開山堂の天井彫刻「追元禅師猛虎調伏の図」で有名です。しかし、そもそも江戸の人であった雲蝶が何故越後で活躍したか？ それは三条の金物商内山又蔵が江戸に商売に出かけたとき、雲蝶作品に感動し越後に呼んだのがきっかけといわれています。雲蝶はその後、三条四の町酒井弥助の娘くにと結婚し、長女なみ、長男儀平をもつけ、三条を拠点に越後各地で作品を残しました。

三条にも珠玉の傑作が多々残っています。さて、三条雲蝶会では作品のある本成寺、石動神社の個別ガイドとともに座学の雲蝶出前講座もやっております。先日は、三条市中央公民館の高齢者大学講座を、本成寺の現地見学会と本成寺客殿での「気ままに雲蝶さん」と題したリラクスタイムをセットにした形でやらせていただきました。お陰様で大好評でした。「気ままに雲蝶さん」タイムが短かったため、再度講座をやらせていただきます。



雲蝶は新潟県の玉です。新潟県各地の公民館に集う皆様にも是非雲蝶の魅力を知っていただきたいと思っております。出前講座はどこへでもお伺いいたします。現地見学会のお申込みも大歓迎です。

【お問い合わせ・申し込み先】  
 tel. 025613311754  
 三条雲蝶会 副会長 江畑 徹 (角田)

お元気ですか

「人生、先は長い」

駒田 文雄 (聖籠町)



町役場を退職したころは、80歳などは他人事のように思っておりましたが、この夏に無事到達。とは言っても老体の身、診察券を何枚も待って医者通いを送る日々です。趣味も、登山やゴルフなどスポーツ大好き人間でしたが高齢とともに限られ、今は短歌作りや県内の小旅行をする程度です。

まれて20年近く、公民館の力添えもあり休むことなく続いており、私も参加させてもらっています。毎月1回公民館で歌会を開き、講師には村上市から阿部昌彦先生がご出席され、一人一人の作品を添削指導して頂けるので助かっており、歌会始や新聞などに投稿、また年1回開催される公民館主催の文化祭の作品発表も主な行事です。その他、

県内、近隣の吟行会、忘年会など老若男女で和気あいあいの歌会もまた楽しいものです。現在は、公民館が毎年発行する「文芸せいろ」の編集のお手伝いをしております。文芸せいろは多くの町民から寄せられた、随筆や詩など七部門の編集ですが、特に小学生の自由闊達の作品は愉しく時間を忘れさせます。これからも病気と仲良く付き合いながら、先の長い人生を前向きに歩んで行きたいと思っております。

※お元気ですかのコーナーは投稿をリタイアした方がその後も元気に活動している様子を紹介するコーナーです。

100年先の日本のために

豊かな水を育み国土を守る森林は、「緑の社会資本」であり、地球温暖化の防止にも大きな役割を果たしています。私たちは、その恩恵を後世の人々が享受できるよう、長期的視点に立った森林づくりを推進しています。

新潟県市町村林政振興協議会  
 会長 (糸魚川市長) 米田 徹  
 新潟市中央区新光町4-1 新潟県自治会館内  
 TEL 025(285)0041 FAX 025(285)1609

編集後記

秋といえば、読書・スポーツ・食欲・芸術など様々な秋がありますが、皆さんはどんな秋を過ごしていますか。私は何といても食欲の秋です。秋ならではの美味しい食べ物がたくさんあります。私の大好きなサンマが

今年是不漁で、値段も高騰しているらしく我が家の食卓にでません。脂の乗った焼きたてのサンマが恋しいです。昭和28年2月に第1号が発行された公民館月報も800号になりました。これからもご購入よろしくお祈りします。

(広瀬)